

『現象と秩序』を複数のWEBサイトに掲載する公示（オプト・アウト機会の保障の公示）

2022年3月31日

『現象と秩序』編集委員会委員長 堀田裕子

『現象と秩序』編集委員会は、2014年10月の『現象と秩序』第1号の発行以来、同誌を定期刊行してまいりました。本号で16号になり、丸7年以上にわたって発行してきたこととなります。この長きにわたり本誌を刊行できましたことは、ひとえに執筆者各位および読者各位のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

その一方で、本誌は、編集委員の高年齢化等の問題を抱えているのも事実です。そこで、本誌掲載論文の永続的な公開環境を確保するため、ならびに学术界の資産として本誌掲載の諸論文へのアクセスをより安定的なものにするために、本誌の公開WEBサイト数を複数箇所を増やしていくことに致しました。この「公示」はそのために行うものです。

公開WEBサイト数を複数化する詳しい理由は以下の通りです。すなわち、これまでは『現象と秩序』は、1箇所 (<http://kashida-yoshio.com/gensho/gensho.html>) でのみWEB公開されていましたが、この体制では、当該サイトのトラブル時に、論文へのアクセスが困難になります。また、当該WEBサイトは、編集委員が個人契約しているインターネットサービスに依存していますが、当該契約編集委員の破産や死亡時に、雑誌のPDFファイルの公開が継続されるかどうか、という点で、持続可能性に疑義のあるものでした。

そこで、編集委員会としては、上記の複数の問題をクリアするべく「公開WEBサイトの複数化」を図ることにした次第です。ご理解賜れば幸いです。

すでに本誌は、その「投稿規定・執筆要領」等において、論文をWEB公開する「ハイブリッド雑誌」であることを宣言しておりますので、掲載各著作物に関して、著作権のうち「複製権（非独占）」および「公衆送信権（非独占）」を本誌が所有していることは明らかなです。しかし、複数箇所のWEBサイトに公開することについては、そのような可能性は考えていなかったという著者の方々がいらっしゃる可能性もあることに鑑み、ここに「オプトアウトの機会を保障するための公示」をするものです。

この件に関しましてご了承いただけない著者の方は、2022年8月末日までに「現象と秩序編集企画室」（下記）までお申し出ください。なお、お申し出のない場合は、ご了承いただけたものといたします。

日本の学術の更なる発展のために、著作者各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

<本件に関する問い合わせ先>

現象と秩序編集企画室

〒651-2103 兵庫県神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学 榎田研究室内

電話：078-794-8074（榎田研究室直通）

E-mail：kashida.yoshio@nifty.ne.jp（榎田美雄気付、現象と秩序編集企画室）